

(1) 選択・集中プログラムの取組とは

選択・集中プログラムは、厳しい財政状況のもとで「みえ県民カビジョン」を推進していくにあたり、特に注力すべき政策課題として取り上げ、第一次行動計画の計画期間中（4年間）に行政経営資源を効率的かつ効果的に投入し、課題の解決や「協創」の取組を進めるものです。

選択・集中プログラムには、「緊急課題解決プロジェクト」と「新しい豊かさ協創プロジェクト」の2種類を設けているほか、「南部地域活性化プログラム」に取り組んでいます。

選択・集中プログラムには、各プロジェクト等に、その成果や取り組んだことの効果を表す指標を設け、実現可能かつ挑戦的な目標値を掲げ、数値目標としています。また、進行管理を的確に行い、県民の皆さんに各プロジェクト等の進捗状況をお示しすることができるよう、実践取組ごとに年次目標を設定しています。

平成28年版成果レポートでは、平成27年度に県が取り組んだ選択・集中プログラムの取組の成果と課題を検証しています。

また、成果と課題の検証結果を踏まえた、各プログラムごとの今後の取組方向について、今年度の改善のポイントを中心に明らかにしています。

【選択・集中プログラムの指標の考え方】

選択・集中プログラムの進行管理を的確に行うとともに、県民の皆さんに取組の進捗状況をお示しするため、「プロジェクトの数値目標」、「実践取組の目標」について、それぞれの性質をふまえた実現可能かつ挑戦的な目標値を掲げています。

○ プロジェクトの数値目標

「プロジェクトの数値目標」は、各選択・集中プログラムのこの計画における目標（「平成27年度末での到達目標」）をふまえ、当該選択・集中プログラムにおいて、さまざまな主体の取組によって得られる最終的な成果を、県民の皆さんの立場からあらわそうとしたものです。

選択・集中プログラムの進行管理において、基本的な指標として活用します。

○ 実践取組の目標

「実践取組の目標」は、各選択・集中プログラムの目標を達成するために、県が選択・集中プログラムを構成する実践取組として取り組んだことの直接的な事業効果をあらわす指標です。

選択・集中プログラムは複数の実践取組から成り立っていますので、実践取組の効果が相まって選択・集中プログラムの成果につながります。このため、選択・集中プログラムの進行管理において、「プロジェクトの数値目標」を補足する指標として用います。